

寺尾第二地区 社会福祉協議会だより

No.48

発行2023年4月 寺尾第二地区社会福祉協議会 会長 宮野 昌夫

障がい理解のための研修会

コロナ下で実施できていなかった「障がい理解のための施設視察研修会」を、3月9日(木)、4年ぶりに「出前講座」という形で実施しました。今回は聴覚障害の方への理解を深めるため、横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設から講師をお招きして、お話をして頂きました。

講師は金子真美さん、伊藤聖子さん。ほかに手話通訳者としてお二人の方が来られました。



金子講師の手話を
同時通訳中



研修後に行った羽田空港で見つけた手話フォン。スマホなどの普及で支援の方法も拡大しています。

—対応する時のポイント—

- ① 正面から話しかける
- ② 口の動きははっきり、ゆっくり
- ③ 身振りや実際にあるものを利用
- ④ 相手の目を見て話す
- ⑤ 書類を見てもらう時は話さない
〈筆談〉
- ① 箇条書きなど短い文章で要点をまとめて
- ② ひらがなより漢字で書く
〈話し方〉
- ① 文節ごとにゆっくりと
- ② 聞き取りにくい言葉は言い換える
- ③ 聞き取りやすい方向から話す
- ④ 複数での会話の時は、話者を明確にする

障害の状況は千差万別です。まず、それを知り、状況に合った対応をしなければなりません。

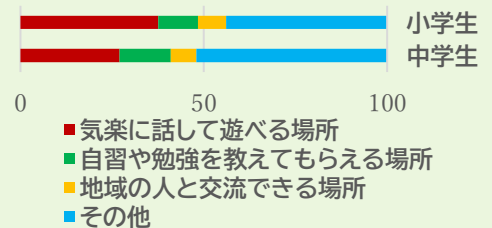
障がいのある方も支援者側も、ほんの少しの勇気と寄り添う気持ちがあれば、コミュニケーションも広がり、暮らしやすくなることを学びました。

あいねっと(福祉保健計画)を進める!

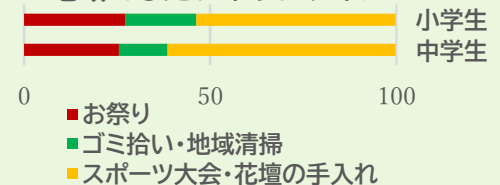
～小・中学生が求める地域とは?!～

昨年10月にあいねっと地区懇談会を開きました。それに先駆けて、地域の小・中学校である馬場小学校・上の宮中学校のご協力を得て、アンケートをとらせていただきました。その結果から多くの子どもたちが、気軽に集える居場所を求めていること、機会があれば地域の行事などに参加し、そこでボランティアなどになりたいという思いがあることを知りました。それらを踏まえて、小・中学生や高校生を主体とした「地域で何かできる会」を4月に開催する予定です。

地域にあるといい場所



地域でしたいボランティア



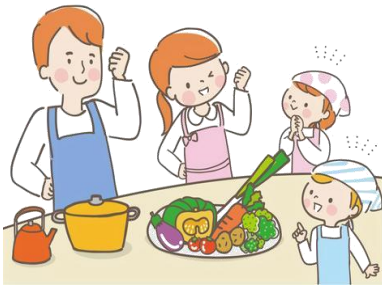
福祉保健講座第三講

今から始める食習慣 ～食で育む親子の絆X～

3月1日（水）、幼少期の食習慣を学ぶ食育講座が、4年ぶりに開催されました。今年は寺尾第二地区のヘルスマイトさん（食生活等改善推進員）に、食の楽しさ・大切さについてのお話や野菜が登場するパネルシアターなど、親子で楽しく学べる講座を用意して頂きました。

食育5つの力「食べ物の味がわかる力」
「元気なからだがわかる力」
「食べ物のいのちを感じる力」
「食べ物をえらぶ力」
「料理ができる力」

これらを幼児期から習慣的に学ぶことが大切だそうです。



家族みんなで食材に触れる“台所育児”がお勧め！

一緒にお買い物をして食材を選んだり、野菜をお子さんが洗ったり混ぜたり盛り付けたり、ベランダ菜園でミニトマト等の育てやすい野菜を育てたり・・・親子でいろいろな会話が増えて好き嫌いも減り、自然と5つの力がついていきそうですね。

当日のテキスト



こどもたちはくぎづけ！



パネルシアターから
本物のお野菜ができました！！

冷たくて
重たいなあ

親子で講座を聞いた後は、食育クイズを楽しんで、おうちご飯に役立つおみやげ（ランチョンマット・サンプルレシピ・塩昆布など）をお持ち帰りいただきました。

参加した皆さんの感想

「いろいろなものを食べて欲しいと悩んでいましたが、一緒に育てたり盛り付けたり工夫すれば良いことがわかりました」
「保育スペースがあったおかげでしっかり勉強できました」
「子供と一緒に学べる講座で楽しかった」

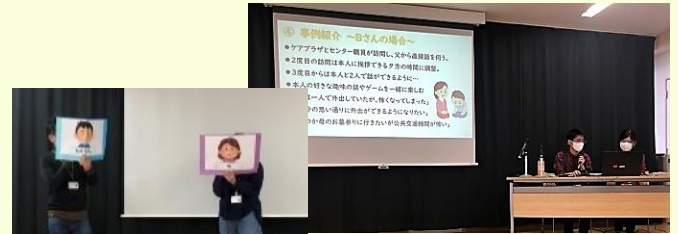


障がい理解のための講座

昨年7月の～入門編～に続き、1月19日（木）に、鶴見区精神障害者生活支援センターの坂井優仁さん、村上李奈さんを講師にお招きして、～支援の窓口編～というタイトルで講演していただきました。

昨年の振り返りの後、支援の窓口の紹介と窓口につながる方法などについて教えていただきました。受講された方々の熱心な質問にも丁寧に答えていただき、更に踏み込んだ講座を持つことができました。

講座の終了後は個人の相談にも応じていただきました。



寸劇も工夫がされ
さらにわかりやすく！



お土産は就労支援事業所
自然館のクッキーです



熱心に受講中



《参加者の声》

- ・他人事ではなく、身近にある問題なので、改めて分かりやすく講座を受けることができ、勉強になりました
- ・相談窓口がたくさんあることを知って、心強く思いました
- ・見た目の分かりづらさや、本人の生きづらさ、具体的な声掛けの仕方を学べてよかったと思います
- ・ゆるやかな見守りの大切さを再確認しました
- ・ご本人の意思が大切なことが分かり、声掛けの仕方なども参考になった

認知症サポーター養成講座 ～基礎編～



地域にお住まいの
渡辺 宮子さん



お土産のお菓子



2月4日（土）寺尾地区センターで、認知症サポーター養成講座～基礎編～が持たれました。キャラバンメイトさんによる、体験もふまえた講座や寸劇がありました。

その後、地域にお住まいの渡辺さんが、若年性認知症のご主人への10年に渡る介護を通した心の変化について話してください、これまで以上に充実した講座になりました。

《認知症の人を介護するご家族の気持ちの変化》

- ① とまどい・否定：これまでと異なる言動にとまどい否定しようとする
- ② 混乱・怒り・拒絶：対応の仕方が分からず混乱し、ささいなことに腹を立ててしまう。心身ともに疲れ、拒絶感・絶望感に陥る
- ③ 割り切り：怒っても仕方がないと割り切るようになる
↓
ステップ①から③を繰り返しながら
- ④ 受容：認知症への理解が深まり、認知症の方の「あるがままを受け入れられるようになる

《参加者の声》

- ・渡辺さんの体験談にとっても感動しました。ありがとうございました。
- ・家族が認知症と診断され、参加しました。とても勉強になりました。
- ・説明も聞きやすく、わかりやすくて良かったです。
- ・もっともっと多くの人に参加してもらいたい講座でした。
- ・今まで参加した講座の中で一番良かったです。
- ・私の体験がお役に立てれば幸いです。ありがとうございました。（渡辺さんより）

2023年度 年間計画



多世代を対象にした集いの場、バンビ・サロンせせらぎ・学んでご飯の2023年度の年間計画をお届けいたします。
多くの皆様のご参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。

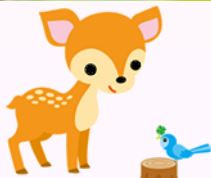
サロンせせらぎ



4月20日(木)	交流会	10月19日(木)	マンドリンアンサンブル
5月18日(木)	ピアノコンサート	11月16日(木)	小物作り
6月15日(木)	七夕飾り&盆踊り	12月21日(木)	ミュージックベル演奏
7月20日(木)	ハワイアンバンド	2月15日(木)	消費生活推進員さんによる講座 &おしゃれ工作
9月21日(木)	マジックショー &くるみボタン作り	3月21日(木)	ウクレレ演奏

🌸 8月・1月はお休みです

バンビ



場 所 馬場地域ケアプラザ2F 多目的ホール
日 時 毎月第3火曜日 10:00~11:00
対 象 未就園のお子さんと子育て中の方

4月18日(火)	新聞紙遊び	10月17日(火)	ハロウィン
5月16日(火)	小麦粉粘土	11月21日(火)	クリスマス飾り作り
6月20日(火)	七夕かざり	12月19日(火)	クリスマス会
7月18日(火)	プール遊び	2月20日(火)	雛飾り作り
9月19日(火)	絵本を楽しもう	3月19日(火)	交流会

🌸 8月・1月はお休みです

多世代交流会 学んでご飯



“学んでご飯”は、寺尾第二地区社会福祉協議会が運営する多世代で見守りながら子どもたちを支援する交流の場です



日 程	メニュー	日 程	メニュー
4月21日(金)	ハヤシライス	10月20日(金)	牛 丼
6月16日(金)	炊き込みご飯	12月15日(金)	ホワイトシチュー
8月18日(金)	カレーライス	2月16日(金)	ちらし寿司

場 所 馬場地域ケアプラザ2F
多目的ホール
日 時 偶数月の第3金曜日
17:00~18:30
対 象 地域にお住まいの
小学校5・6年生
中学生

🌸 食材(お米・野菜など)を寄付して下さる方もお待ちしております 🌸